

西三河南部西構想区域における急性期医療への対応に係る協定について

西三河南部西医療圏における高度急性期医療・急性期医療に係る連携をより強固なものとし、地域住民に対し安心・安全かつ良質な高度急性期医療・急性期医療を永続的に提供していくために救急車の年間受入件数が2000件以上の下記医療機関が協定を締結。

締結日 令和2年3月9日 (医療機関)・愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院
 ・医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院
 ・社会医療法人財団新和会 八千代病院
 ・西尾市民病院
 ・碧南市民病院

目的 5病院間の高度急性期・急性期医療に関する連携、相互支援体制をさらに強化することによって、構想区域の高度急性期・急性期医療を量的・質的に充足させるとともに、この地域の医療提供体制のあるべき姿を追求していくことを目的とする。

事業 (1)5病院が保有する急性期医療機能を発揮するための連携推進と相互支援に関すること
 (2)当地域の医療の質の向上に関すること
 (3)急性期医療の充実に資する人事交流(診療支援・人材育成など)に関すること
 (4)地域医療構想にかかわる情報共有と機能分化・連携推進等に関すること
 (5)その他、前条の目的を達成するための取り組みに関すること
 上記の事業遂行のため、急性期医療対応会議を開き事業遂行に必要な事項を協議する。

実績 ①令和2年10月26日に急性期医療対応会議を開催
 ・コロナ禍における西三河南部西医療圏における病床稼働率及び救急患者数について、情報を共有。
 ・碧南市民病院は、今回の感染症流行期において、一時的に院内感染により診療を制限せざるを得ない状況となったが、協定を締結する医療機関の協力によって、西三河南部西医療圏の医療提供機能は維持されたとの認識を示した。

②令和3年2月8日に急性期医療対応会議を開催
 ※衣浦東部保健所と小林記念病院が会議に臨時参加
 ・各医療機関の新型コロナウイルス感染症の入院患者確保病床と受け入れ実績について情報共有。
 ・衣浦東部保健所より新型コロナウイルス感染症の入院患者受け入れについて、受け入れ拡大を相談。この点について、各医療機関より見解を説明し、意見交換。
 ・新型コロナウイルス感染症の予防接種について、各自治体及び医療機関での状況を情報共有。